



声明 北朝鮮のミサイル発射は民間航空の安全を脅かす

日乗連は、北朝鮮の繰り返されるミサイル発射に対して、運航の安全を脅かされるため、以下のように声明を発行いたしました。

昨今、北朝鮮はミサイルの発射を繰り返し、福岡 FIR 内の日本海に落下させている。報道によれば、2016 年 8 月 2 日～2017 年 7 月 28 日の間において、民間航空 B451 (IGROD-KADBO)間の近辺海域に 5 回、R211 (AVGOK-KADBO)間の近辺海域に 2 回、それぞれミサイルを落下させたとしている。これは、一歩間違えば重大な事故につながる脅威である。

国際民間航空機関(ICAO)理事会が 10 月 6 日(現地時間)にカナダのモントリオールで開かれ、北朝鮮によるミサイル発射が国際民間航空の安全に対する重大な脅威となっている状況について、初めて北朝鮮を名指して非難する決定が採択された。

日乗連は ICAO の国際標準の遵守を強く求め、国際民間航空の安全の確保のために、引き続き IFALPA 等の組織と緊密に連携し、活動を続けていく。また、日本政府並びに国際社会に対して、軍事的緊張をいたずらに高めることでなく、北朝鮮問題を速やか、かつ平和的に解決することを強く求めるものである。

以 上